

(平成 30 年 5 月試験研究業務月報)

試験研究課題：丹後地域における産地強化のための果樹複合経営の確立

研 究

カルシウム剤の葉面散布による「あざ」抑制技術の開発

当所では、今年度から丹後地域の主力品目であるナシ「ゴールド二十世紀」の秀品率低下の要因の一つである「あざ」対策に取り組んでいます。

「あざ」は、夏期の急激な果実の肥大により果皮にごくわずかな傷が発生し、その傷を埋めようとコルク※¹が発達することが原因とされています。

このため、細胞壁を強化し、微少な傷の発生を抑制する効果が期待できるカルシウム資材の葉面散布※²を 5 月 14 日に行いました。

カルシウム剤は、今後、6 月中旬と 7 月中旬の計 3 回散布し、収穫時にあざの発生程度を無散布区と比較します。

※ 1 コルク：植物体が傷を受けた部分などに形成される保護組織

※ 2 葉面散布：肥料成分を水に溶かし、葉に散布して吸収させる施肥方法



カルシウム剤を葉面散布

農 林 セ ン タ ー （ 丹 後 農 業 研 究 所 ）